

正味財産増減計算書

2018年7月1日から2019年6月30日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	6,585	5,145	1,440
基本財産利息収入	6,585	5,145	1,440
② 特定資産運用収入	6,450	11,946	△ 5,496
特定資産運用収入	6,450	11,946	△ 5,496
③ 賛助会費収入	2,580,600	2,516,500	64,100
賛助会費収入	2,580,600	2,516,500	64,100
④ 研修補助金収入	2,000,000	2,000,000	0
研修補助金収入	2,000,000	2,000,000	0
⑤ 寄付金収入	43,448,329	17,398,274	26,050,055
地区寄付金収入	5,388,200	9,578,800	△ 4,190,600
特別寄付金収入	8,140,600	4,751,950	3,388,650
百円募金寄付金収入	2,584,787	2,627,524	△ 42,737
施設寄付金収入	461,000	440,000	21,000
50周年記念寄附金	26,873,742	0	26,873,742
⑥ 普及事業収入	271,670	596,340	△ 324,670
普及事業収入	271,670	596,340	△ 324,670
⑦ 雑収入	100,163	100,123	40
受取利息	163	123	40
雑収入	100,000	100,000	0
経常収益計	48,413,797	22,628,328	25,785,469
(2) 経常費用			
① 事業費	16,644,289	19,826,188	△ 3,181,899
給料手当	3,297,065	3,174,934	122,131
退職給付費用	102,010	102,010	0
法定福利費	569,964	441,359	128,605
福利厚生費	13,796	125,800	△ 112,004
旅費交通費	164,739	169,650	△ 4,911
通信費	362,622	356,729	5,893
減価償却費	5,344,236	5,195,113	149,123
事務費	183,310	131,125	52,185
記念館修理費	526,564	1,404,790	△ 878,226
水道光熱費	1,350,714	1,395,700	△ 44,986
普及費	2,100,382	4,471,385	△ 2,371,003
館報発行費	919,343	1,102,950	△ 183,607
記念館運営諸費	1,136,574	1,197,449	△ 60,875
委託費	500,000	500,000	0
雑費	72,970	57,194	15,776
② 管理費	2,214,348	2,336,748	△ 122,400
給料手当	581,835	560,282	21,553
退職給付費用	18,002	18,002	0
法定福利費	100,582	77,887	22,695
福利厚生費	2,434	22,200	△ 19,766
会議費	162,955	178,738	△ 15,783
旅費交通費	483,293	499,640	△ 16,347
通信費	63,992	62,952	1,040
減価償却費	433,621	424,690	8,931
事務費	31,594	14,010	17,584
記念館修理費	54,632	145,750	△ 91,118
水道光熱費	252,781	281,796	△ 29,015
慶弔費	10,000	32,940	△ 22,940
雑費	18,627	17,861	766
経常費用計	18,858,637	22,162,936	△ 3,304,299
当期経常増減額	29,555,160	465,392	29,089,768
当期一般正味財産増減額	29,555,160	465,392	29,089,768
一般正味財産期首残高	352,373,402	351,908,010	465,392
一般正味財産期末残高	381,928,562	352,373,402	29,555,160
II 正味財産期末残高	381,928,562	352,373,402	29,555,160

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
法人税法に基づく定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金については、要支給額の全額を引き当てている。
- (4) 消費税等の会計処理
税込処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	96,572,000	0	0	96,572,000
定期預金	32,000,000	0	0	32,000,000
小計	128,572,000	0	0	128,572,000
特定資産				
建物	124,607,244	16,740,540	5,201,477	136,146,307
構築物	1,495,920	0	463,952	1,031,968
什器備品	318,548	0	112,428	206,120
減価償却引当資産	71,188,059	5,004,394	0	76,192,453
退職給付引当資産	1,541,478	120,012	0	1,661,490
50周年事業引当資産	4,000,000	2,000,699	0	6,000,699
小計	203,151,249	23,865,645	5,777,857	221,239,037
合計	331,723,249	23,865,645	5,777,857	349,811,037

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
土地	96,572,000	(0)	(96,572,000)	(0)
定期預金	32,000,000	(0)	(32,000,000)	(0)
小計	128,572,000	(0)	(128,572,000)	(0)
特定資産				
建物	136,146,307	(0)	(136,146,307)	(0)
構築物	1,031,968	(0)	(1,031,968)	(0)
什器備品	206,120	(0)	(206,120)	(0)
減価償却引当資産	76,192,453	(0)	(76,192,453)	(0)
退職給付引当資産	1,661,490	(0)	(0)	(1,661,490)
50周年事業引当資産	6,000,699	(0)	(3,000,699)	(3,000,000)
小計	221,239,037	(0)	(216,577,547)	(4,661,490)
合計	349,811,037	(0)	(345,149,547)	(4,661,490)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	309,565,632	173,419,325	136,146,307
構築物	33,104,703	32,072,735	1,031,968
什器備品	19,666,728	19,460,608	206,120
合計	362,337,063	224,952,668	137,384,395